

# 「創造的復興」を推進して、 輝く未来を紡ぐまちづくり

町民の皆様、あけましておめでとうございます。  
日ごろからの町政全般に対する温かいご理解と絶大なご協力を厚くお礼申し上げます。

一昨年は、4月から発生した熊本地震および6月の記録的豪雨が、県下はもとより本町にも未曾有の被害をもたらしました。農地をはじめとする産業基盤や交通インフラ、学校などの公共施設も大きく損傷するなど、全国でも過去に例を見ない規模の震災の傷跡は大きなものとなりました。

町としては、町民の皆様が一刻も早く安全・安心に暮らす環境を復旧・復興できることを目指して、り災証明書発行や応急仮設住宅建設、家屋解体などいち早く着手し、迅速に震災関連業務を執行いたしました。復興の大きなシンボルの1

つである災害公営住宅の建設では合計52戸を計画し、今年6月に乙女団地（12戸）と白旗団地（10戸）、10月に甲佐団地（30戸）の入居を予定しております。今後被災者の皆様の生活再建を優先課題と捉えて、総力を挙げて迅速かつ強力に震災対策を講じていくことといたします。

これらの震災対策については、私が政策目標として「町長マニフェスト」で掲げた「再生から創生へ・次世代へ残す輝く郷づくり」を正に基本とし、単なる復旧にはとどまらず、将来を見据えて更なる本町の発展を目指した「創造的復興」を同時に講じていくことが重要と考えております。本町の早期復旧・復興を加速化するために、まちづくりの基本である「第6次町総合計画」をはじめ、一昨年に県内に先駆けて策定した「町震災復興計画」など各計画を町民の皆様と共有し、

協働によるまちづくりを推進して参ります。

今後も、町民と行政が震災などでの苦難を共に乗り越え培われてきた絆と、町外の多くの方から頂いた支援に感謝しつつ、創生を見据えた復興により「甲佐町に住んで良かった」と誇りと愛着を持って心から口にしていただけるまちづくりに向かって、町民の皆様から寄せられた



甲佐町長 奥名 克美

大きな期待に応えるためにも町職員と一丸となり、共に汗を流して、強い信念と情熱で真摯に実現して参ります。

終わりに、町民の皆様、また議会の皆様には、本年も変わらぬご指導とご支援の程をよろしくお願い申し上げますとともに、町民の皆様にとりまして輝かしい1年となることを祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

# 一日も早い 復興を目指して

甲佐町議会議長  
緒方 哲哉



町民の皆様、明けましておめでとうございます。  
平成30年の節目の年を迎え、甲佐町議会を代表し、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。  
皆様方には、新たな期待と希望をもって、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
平成28年の熊本地震また豪雨災害で、多くの方が被災されたことにより、昨年は、家屋等の復旧作業や生活再建のために大変なご苦労をされたかと思えます。今後も厳しい状況が続くと思えますが、皆様の生活の安定と地域の復興を目指し、議会も取り組んで参りますので、ご協力の程どうぞよろしくお願い申し上げます。  
奥名町政の3期目のマニフェストが示されている中、基幹産業である農業は長

引く景気低迷、後継者問題によって極めて厳しく、商工業も危機的状況にあると思っております。この状況からの脱却により良い方策を見出していかなければなりません。

農業を中心とした産業の振興や緑川を活かした環境政策、子育て世代に優しい政策、教育政策の充実による甲佐の魅力を活かした定住政策などの取り組みを推進し進める必要があると考えております。  
町民の皆様の声に耳を傾け、まずは、一日も早い復旧・復興を目指し、また、皆様の代表であることを強く自覚し、日々研さんに努め、開かれた議会づくりを目指していきたいと思っております。  
今後とも、ご指導とご支援をよろしくお願いいたします。  
町民の皆様にとりまして、更なる実り多き年でありますことを祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

# 「学校・家庭・地域の 協働」による教育と 地域づくり

甲佐町教育長  
蔵田 勇治

明けまして、おめでとうございます。  
謹んで新年のご挨拶を申し上げます。また、日頃から本町教育行政に暖かいご理解とご支援、ご協力を頂いておりますことに感謝申し上げます。

熊本地震・豪雨災害から二度目の新春を迎えました。町教育委員会では「町震災復興計画」に基づき教育環境、教育活動の復旧・復興と共に、震災以前より「より良い」教育環境、教育活動創りに町民の皆様と共に取り組んでいくところ

です。  
昨年3月、小・中学校の学習指導要領が改訂・告示されました。今回の改訂の根底には、経済や文化のグローバル化、少子高齢化など、急激に変化する現代社

会と、その先にある「子どもたちが成人して活躍する未来」予測があります。改訂の主な内容としては理数教育、道徳教育、外国語教育の充実などが挙げられ、今後、道徳の教科「特別の教科 道徳」、小学校からの外国語科（教科「英語」）の学習が始まります。本町ではこれらの課題に先進的に取り組み、「学力県下トップ構想」「文教の町、甲佐」の実現に取り組んでまいります。そのためには「学校・家庭・地域」の協働が必須であり大きな力になります。また、地域の皆さまの学校教育への協働参画は、家庭・地域の教育力向上や地域の活力づくりにも繋がるものです。どうか、町民の皆様への深いご理解とご支援、協働への参画をお願いいたします。

年頭にあたり、本町の教育の更なる充実への新たな決意を述べさせていただきますと共に、今年が皆様にとって幸多き年になりますことを祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



甲佐町教育長 蔵田 勇治